観光地魅力度調査報告書

令和２年９月

～赤穂市版～

公益社団法人ひょうご観光本部
Hyogo Tourism Bureau

調査概要

調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	赤穂市
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	62
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年９月

《居住地》
・観光客・宿泊客の約７割が県内と大阪府からの訪問者で、マイクローツーリズムが拡大している。

《リピート率・消費額》
・リピート率をみると、初めてと2回目以上が、ほぼ半数ずつとなっており、県全域よりもリピーターの割合が低く、来訪者の満足度を上げ、リピート率を高めることが必要と考えられる。
・１万円以上２万円未満と２万円以上の割合がそれぞれ４割を占める。

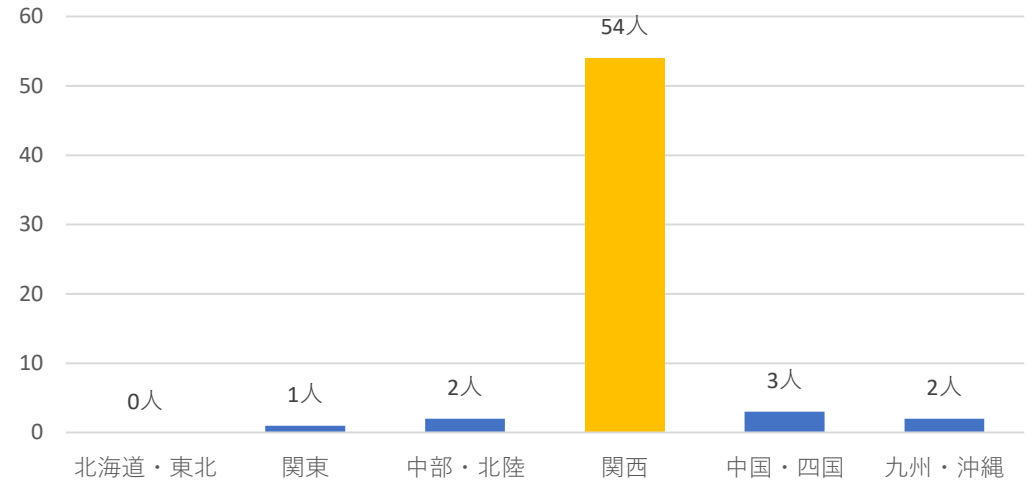
《地域への期待度・地域の満足度》
・体験・アクティビティ、お土産・特産品への期待度・満足度は、県全域よりも１０～２０ポイント低く、こうした分野の商品開発や認知度向上が課題と考えられる。

《周遊》
・周遊先としては、姫路市と岡山県が約４割を占め、周遊コースの開発などが課題と考えられる。

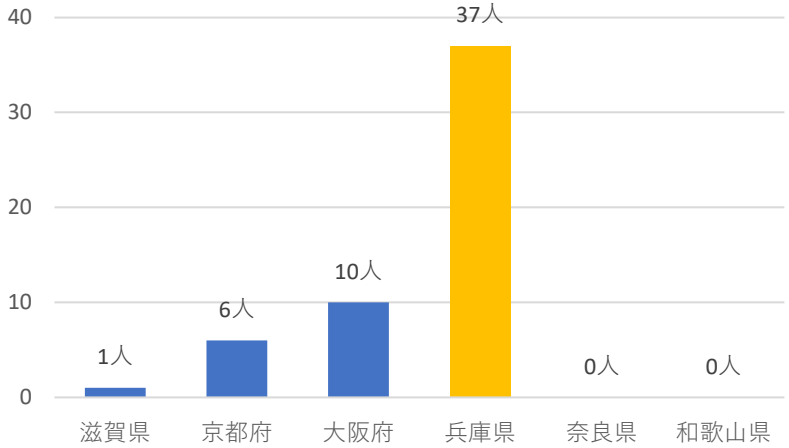
回答者属性

居住地

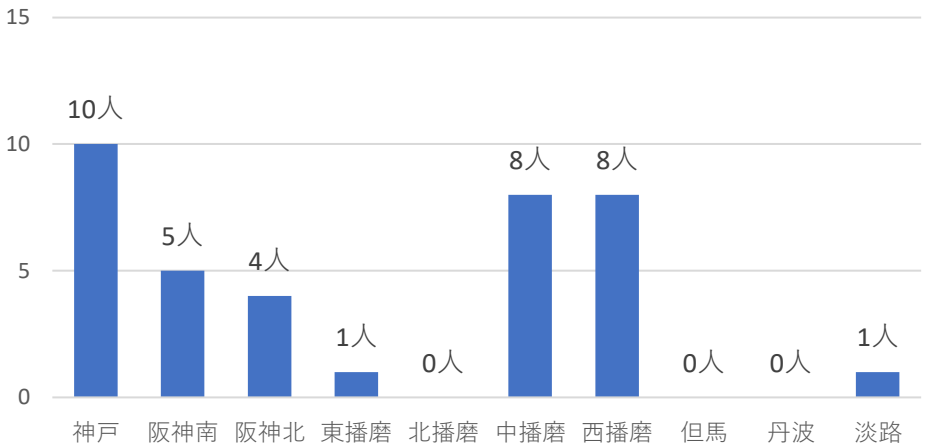
居住地　N=62



居住地（うち関西）　N=54

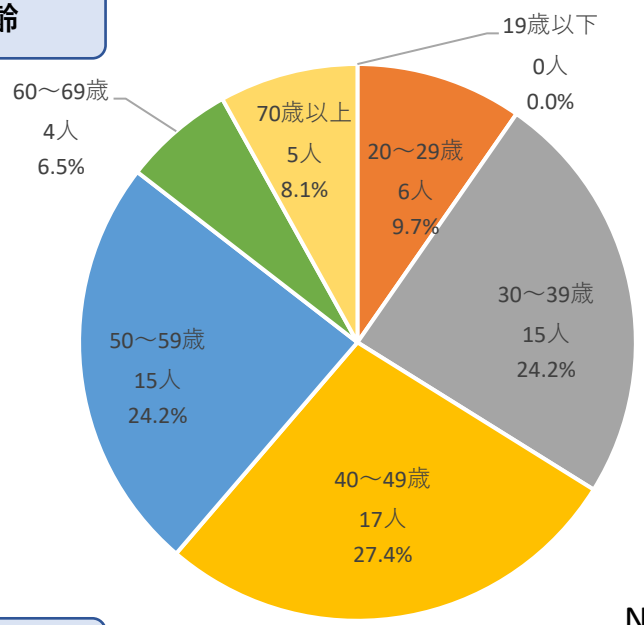


居住地（関西のうち兵庫県内）　N=37



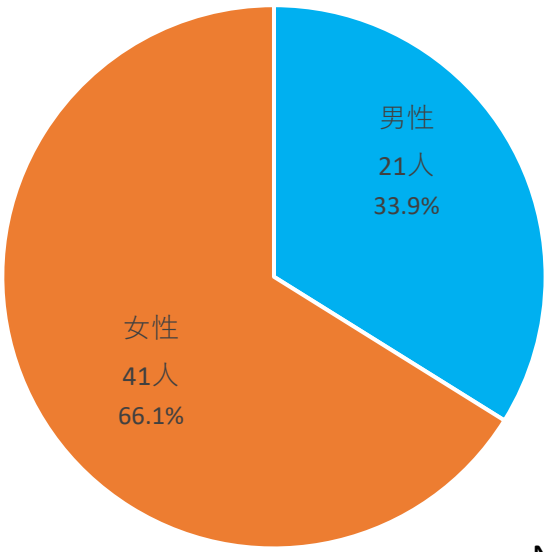
年齢・性別

年齢



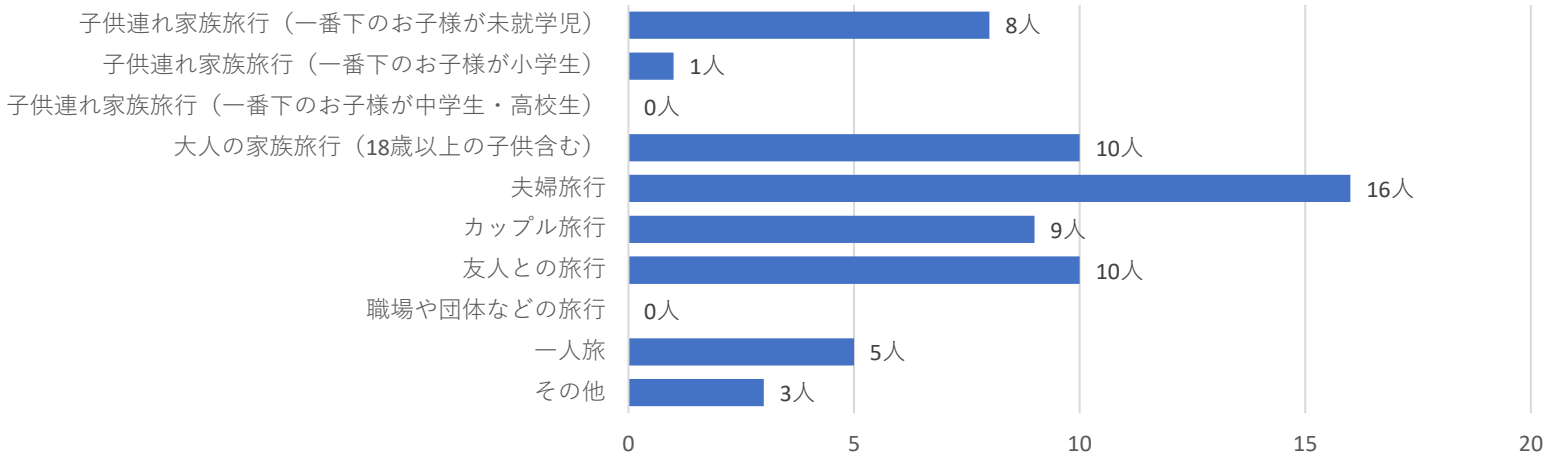
N=62

性別



N=62

同行者

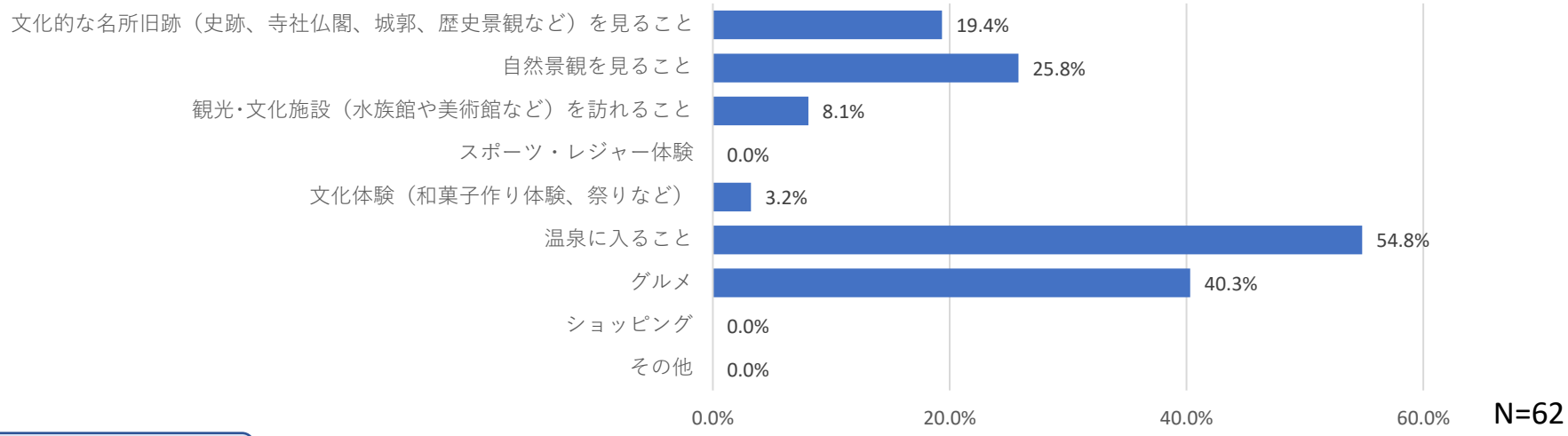


N=62

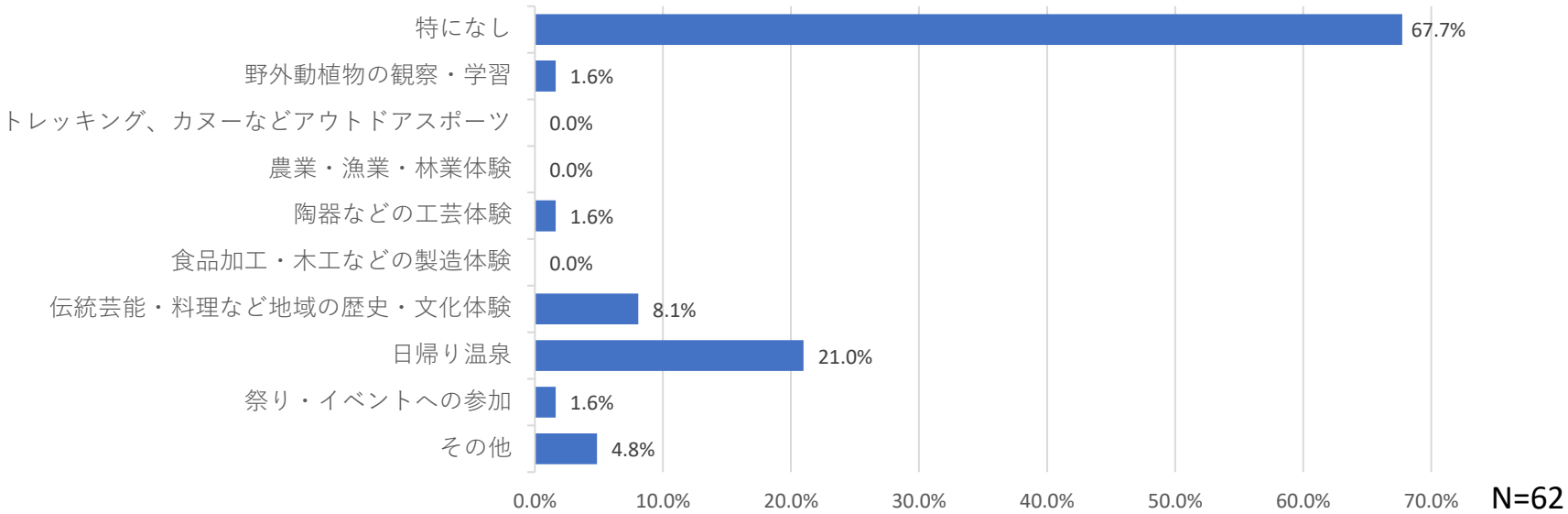
調査結果

旅行目的・体験したコンテンツ

旅行目的

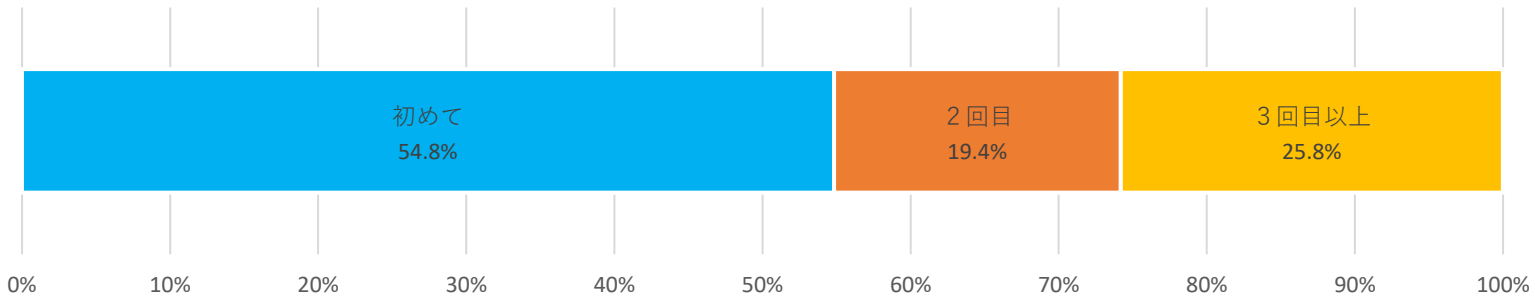


体験したコンテンツ



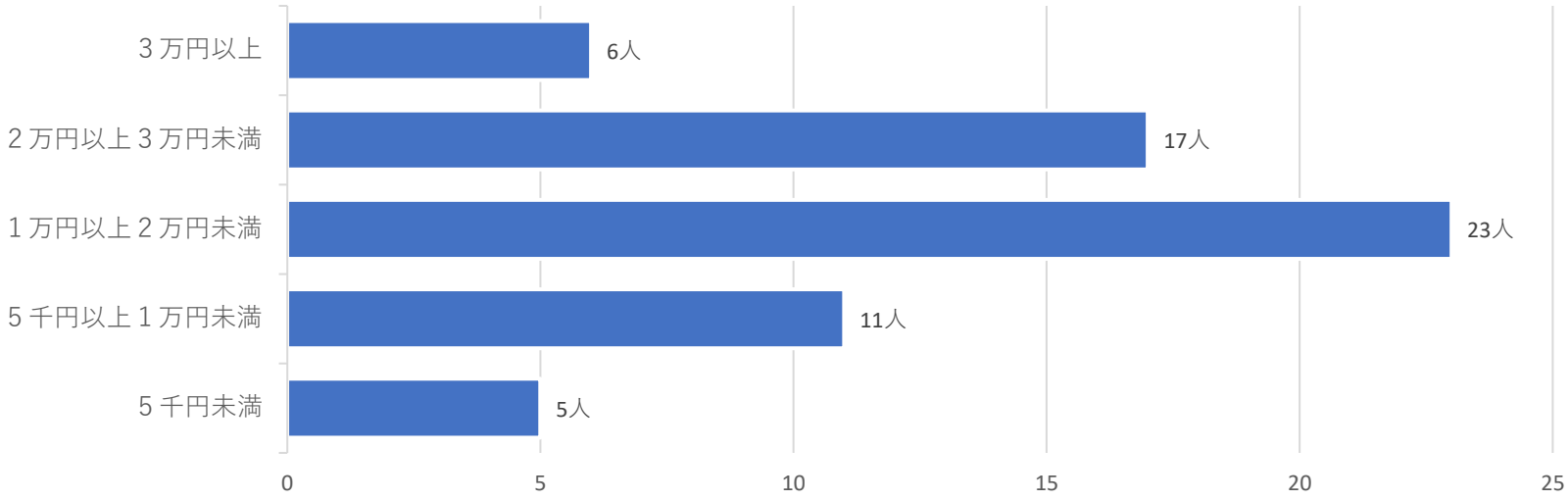
リピート率・消費額①

リピート率



N=62

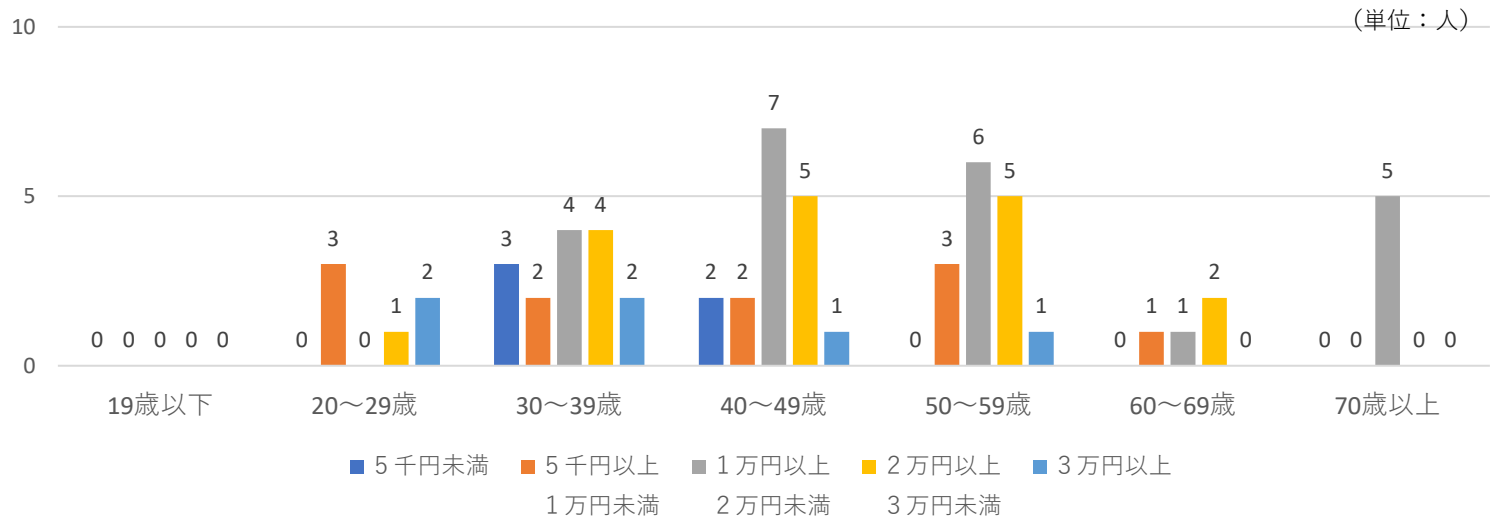
地域内での消費額



N=62

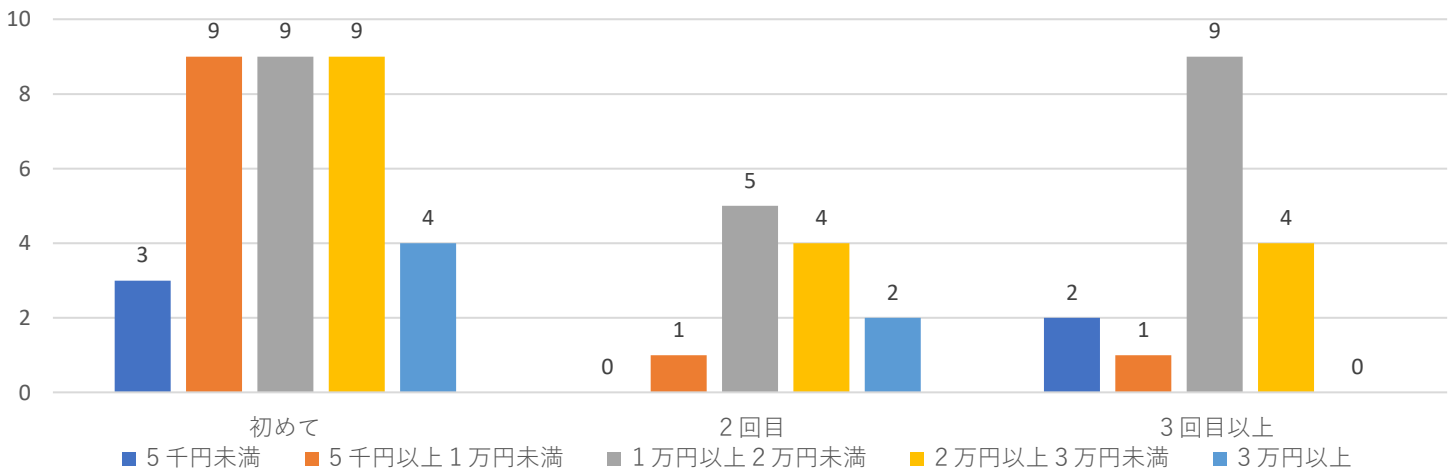
リピート率・消費額②

消費額×年代



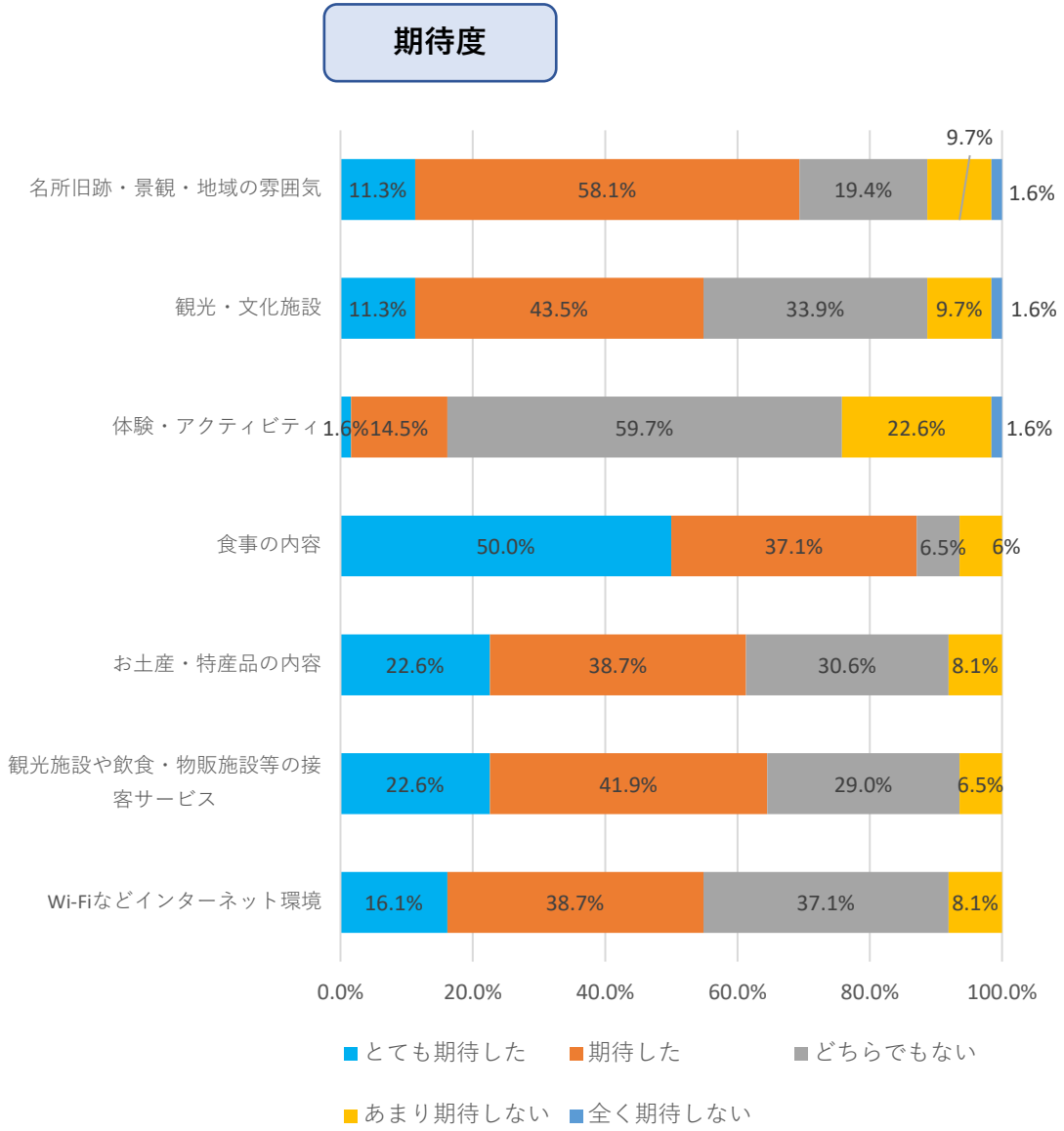
N=62

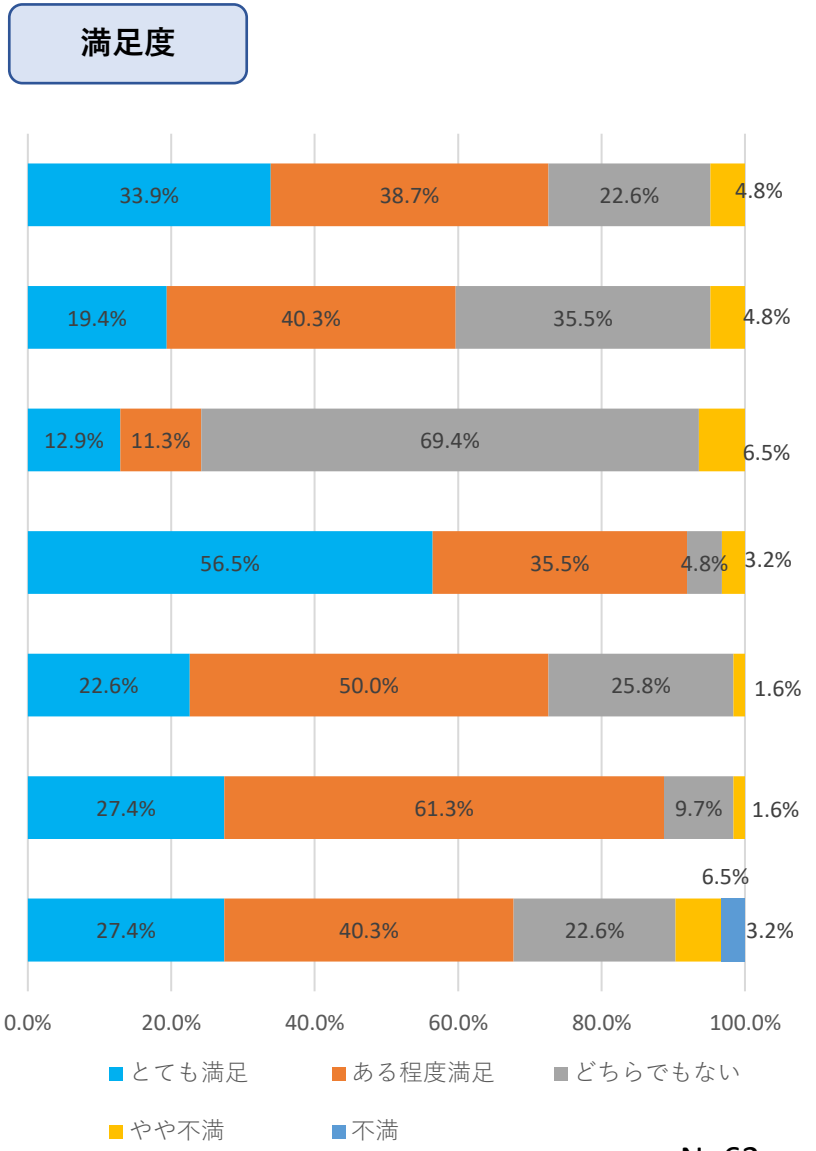
消費額×リピート率



N=62

地域への期待度・地域の満足度

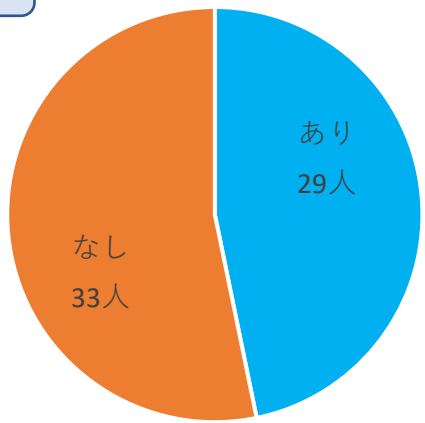




N=62

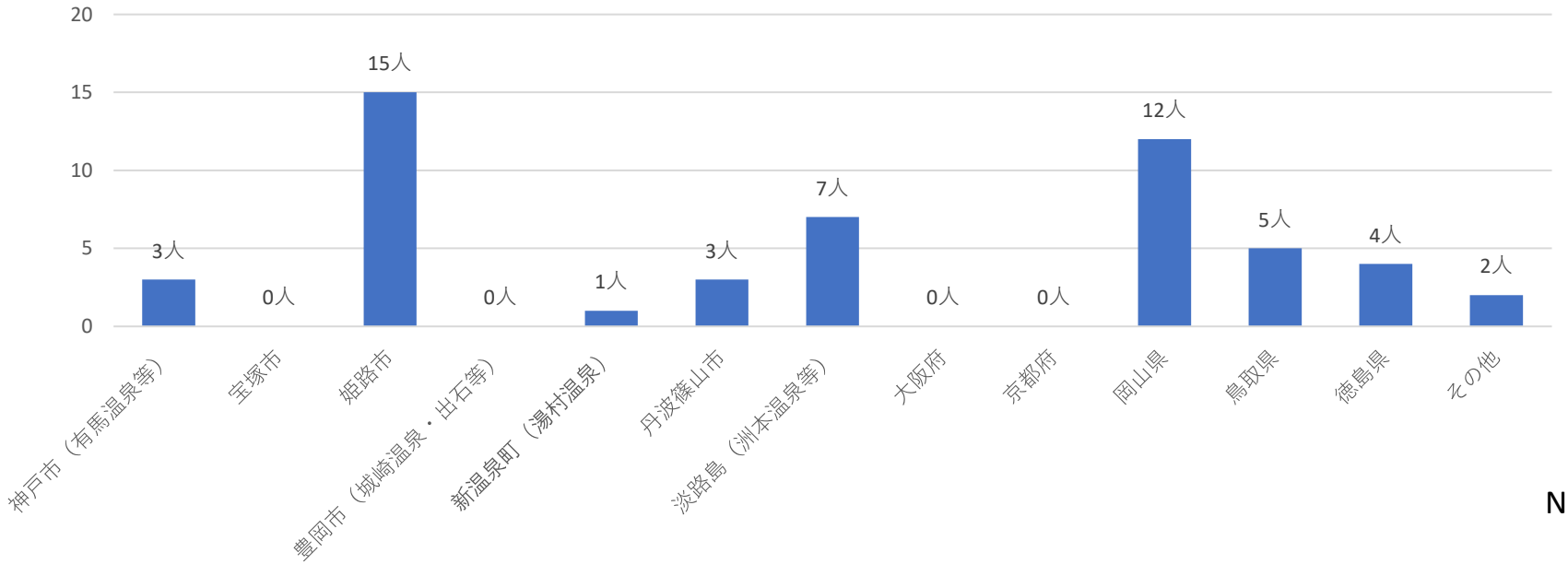
周遊の有無・周遊先

周遊の有無



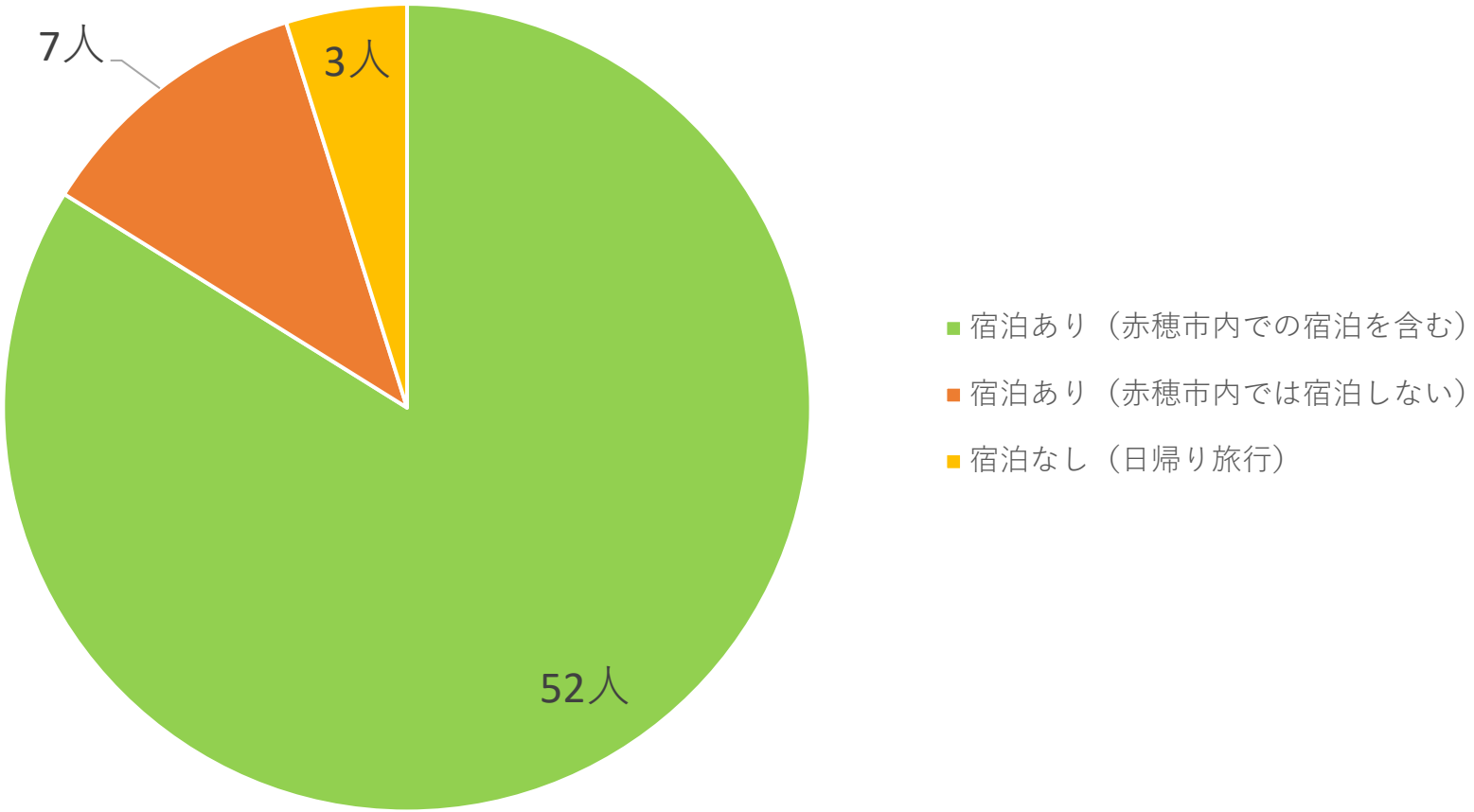
N=62

周遊先



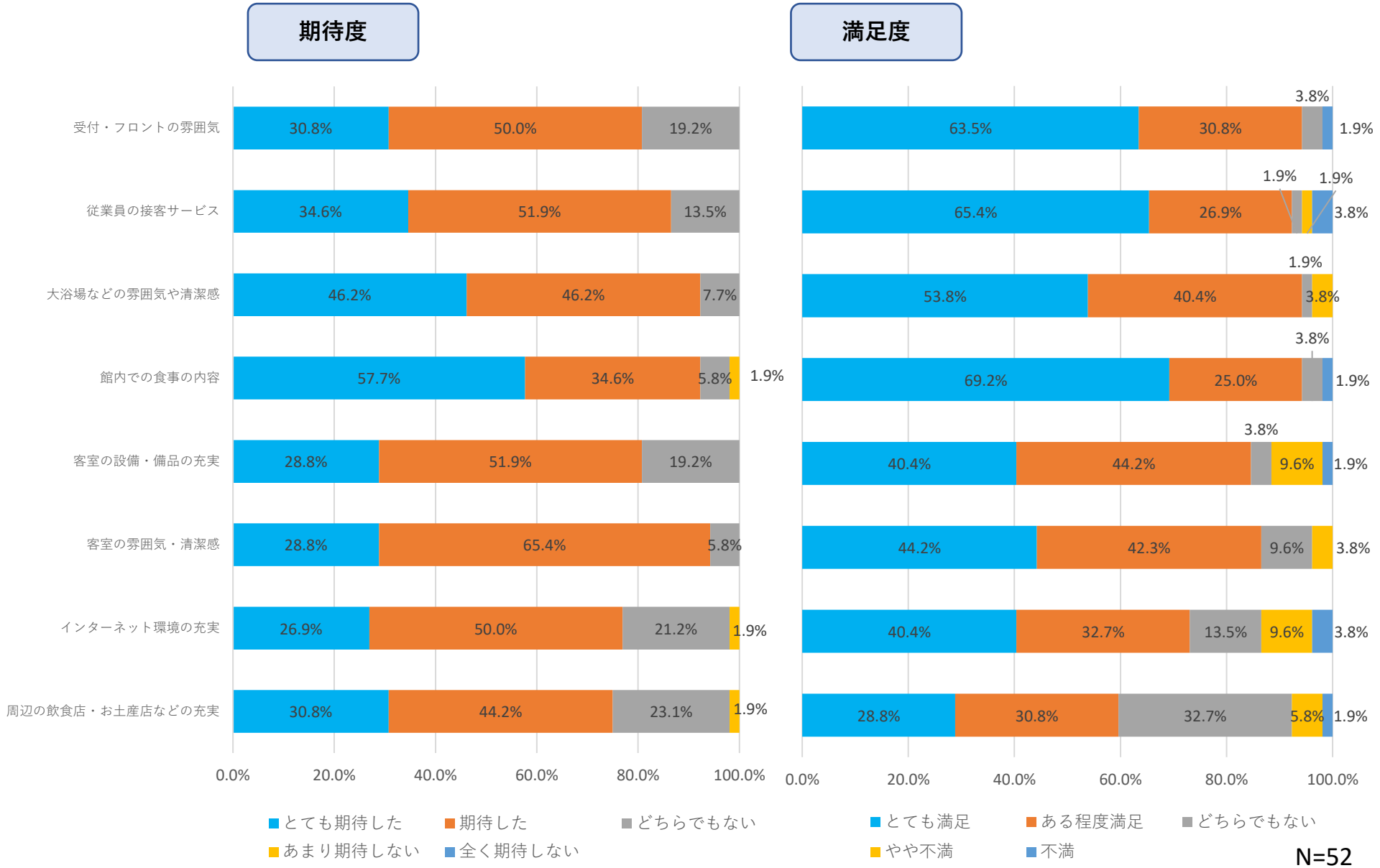
N=52

宿泊の有無



N=62

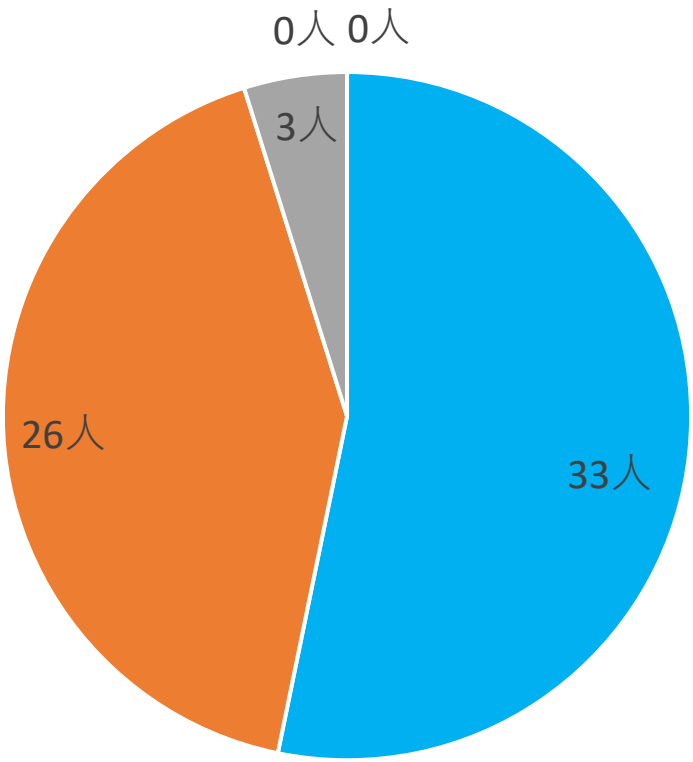
宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



N=52

再訪意向

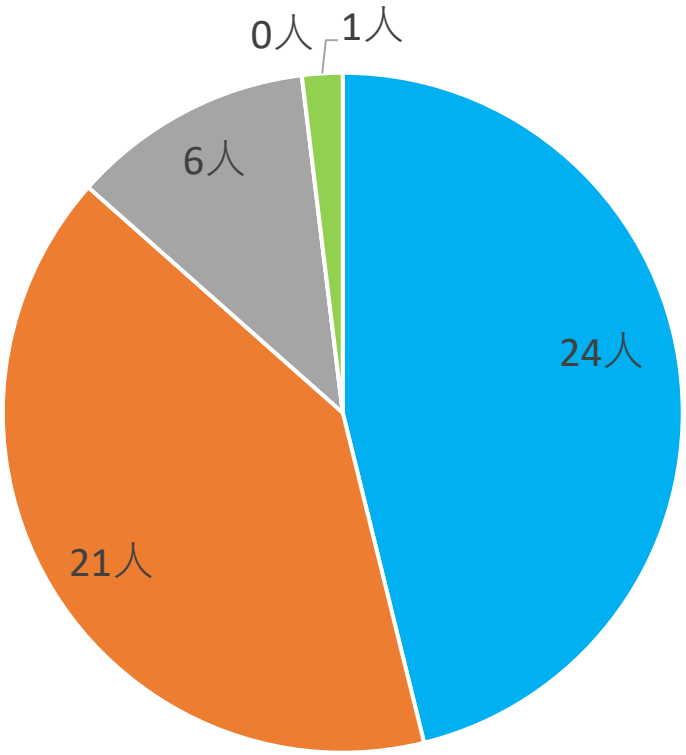
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=62

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=52